



GⅢ Vol.151

空っぽと詩

KARAPPO TO UTA 武内明子展

2023 08.03 (THU) → 10.09 (MON)

会場 熊本市現代美術館 ギャラリーⅢ + 井手宣通記念ギャラリー
開館時間 10:00 - 20:00 [入場無料]
休館日 火曜日
主催 熊本市現代美術館 [熊本市、公益財団法人熊本市美術文化振興財団]

Contemporary Art Museum, Kumamoto
熊本市現代美術館

熊本市出身で、東京や各地での活動を経て、2020年に熊本県上天草市に居を定めた画家・武内明子。不知火海を望むのどかなまちで、豊かな自然に包まれながら、日常をみずみずしい色と形で描き出しています。本展は、天草で暮らし始めた武内の新作・近作を発表します。

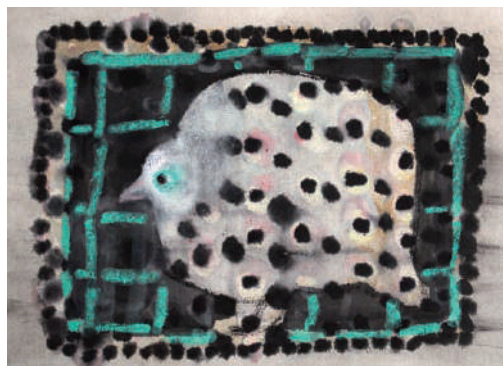
武内が作品を生み出すときに大切なふたつのこと、それがタイトルにある「空っぽ」と「詩」です。「空(から／くう)」であることとは、さまざまな可能性を呼び込むこと。空である身体は、自らを超えて新しい世界と出会うための扉を開くことができます。描出した色や形、そしてタイトルなど空から生み出されるものが「詩」です。武内は「Y字路のように、一方から絵がやってきて、もう一方から言葉がやってきて、出会った時に一つの道になって完成に向かっていく」と語っています。自らを空っぽの器にして、とりまく風景や支持体にも身をゆだね、対話するように絵筆を動かしていると、空から鳥が舞い降りてそっと枝にとまるように言葉がやってくる。すると、絵と言葉は手を取り合って完成に向かっていくのです。武内の「空」と「詩」の伸びやかな出会いが、作品と出会った人に柔らかな連鎖をもたらすことを願っています。



1 2
3 4 5

1.「空のプール」2023年
2.「作り話」2023年
3.「ライブラリー」2022年
4.「ウチノウズラ/柵」2022年
5.「ハナミン」2023年

表.「ちいさな睡へ」2023年



PROFILE

武内明子 akiko takeuchi / 画家

1983年熊本市生まれ。日々の風景をみずみずしい色や形に描き出す絵画作品を国内外で発表。主な展覧会に、「文無日記/風にねんかかる」(2015、つなぎ美術館)、「しらないをあさくって」(2010、不知火美術館)、野見山暁治との二人展「遠くつながる この空と」(2021、さんかく舎)。画家・麻生知子と日本全国を旅して、作品を制作し発表する《ワタリドリ計画》の活動に、「奈義の旅」(2022、奈義町現代美術館)、「MOTサテライト2020」(2021、東京都現代美術館)、「絵から旅する大原⇄岡山」(2020、大原美術館)など。その他、不知火美術館・図書館「こども絵本のいえ」壁画、つなぎ温泉四季彩のモノレールラッピングデザイン等、空間や風景の中に描く多様な表現に取り組んでいる。

TALK

武内明子 アーティストトーク

空っぽになって絵を描くこととは？
武内の創作についてそっと触れるトーク。

2023年8月13日(日) 14:00-15:00

会場：熊本市現代美術館アートラボマーケット

定員：25名 ☐ 参加無料 ☐ 予約不要

WORKSHOP

「空の詩 -わたしとあなたとまんなかの色-」

絵の具の箱には入っていない色を作りながら、
色のことをじっくり考えます。

2023年9月17日(日) 13:30-15:30

会場：熊本市現代美術館アートラボマーケット

定員：10名 ☐ 中学生以上 参加無料 ☐ 要申込み

申込方法：お名前、電話番号、年代をお知らせください。

電話：096-278-7500

メール：gamadas@camk.or.jp

熊本市現代美術館

Contemporary Art Museum, Kumamoto

〒860-0845

熊本市中央区上通町2-3 びぶれす熊日会館3F

Tel.096-278-7500 www.camk.jp

交通アクセス

「通町筋」電停・バス停下車、徒歩1分

- JR熊本駅から／市電またはバス「健軍町」行(約15分)
- JR新水前寺駅から／市電またはバス「熊本駅」「上熊本駅」行(約10分)
- 阿蘇くまもと空港から／空港バス「熊本駅前」行(約40分)

*美術館専用の駐車場はございません。
びぶれす熊日会館駐車場(有料)や周辺の
コインパーキングをご利用ください。

